



さくくら RA



Feb.2017

発行／ボーイスカウト世田谷第5団広報部

ビーバー隊 1月8日 新年こどもまつり

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

毎年恒例の世田谷区こども祭に行ってきました。世田谷線で向かいます。いつもとは勝手の違う電車に興味津々で乗り込むと会場はもうすぐ！例年通りまずはそり体験に並びます。今年は雪が少ない中、新潟から雪をいっぱい運んでくれて感謝の気持ちもひとしおです。一番人気のアトラクションゆえに結構並びますが、世田谷でそりすべりができる楽しさは並ぶ価値あり、です。その後はボーイスカウト世田谷地区ローバー隊中心に出展しているターザンロープです。こちら人気アトラクションで結構並びましたが、本格的な高いやぐらからターザンロープをするスリルは普段経験できないものでした。また、なかなか接することのないローバー隊の姿を見れたのも良かったと思います。

その後は他団のカブ隊などと一緒に公園でおにぎり！少し雲行きが怪しくなったので、早めに帰途につききました。私が出れない中、引率していただいた副長やお手伝いの皆様、ありがとうございました。

ビーバー隊

副長 保科哲也

曇天空の下9時に九品仏交番裏に集合9時15分の二子玉川行きに急いで乗りました。三軒茶屋 経由 世田谷線の松陰神社前で降りました。世田谷区役所広場で開催中の新年子どもまつり会場に着き直ぐに雪の滑り台に並びました。

60分待って、その間に掲示板の間違い探しゲーム、楽しい正月休みの話をしました。5人のスカウトは丈夫なゴム浮き袋に乗ってスピード充分に滑りました。やばかった がみんなの感想です。ターザンロープもやりました。ハーネス(安全带)で体を確保して約4メートルの高さから滑車を使って30メートル滑り降ります。数人の棄権するスカウトもいましたが、来年は挑戦しましょう。若林公園でおにぎり弁当をたべました。

怪しげな空模様もあって、早めに九品仏に戻りました。解散後に雨が降りだしました。本年もよろしくお願い致します。



1月22日 牛乳パックポックリ作り

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

保科副長の発案で牛乳パックを使った工作をしました。身近な材料でのポックリ作りです。まずは牛乳パックを切って折り込みます。その次は最大の山場、段ボールを丸めて芯材にします。しっかり巻かないと牛乳パックに入りません。やはり巻き込みが甘くて入らないスカウト続出でしたが、リーダーのアシストもあり、何とか次工程に！芯材を入れた部分をしっかりとビニールテープで留め、耳の部分にビニールテープを通します。最後に自由に装飾をします。ラメの折り紙を貼るスカウト、マジックで絵を描くスカウト、それぞれに工夫こらして完成！猫じゃらし公園に移動して橋や斜面を歩いてみました。下り坂が難しくて、転んだスカウトもいましたが、楽しい一時を過ごせたと思います。



カブ隊

1月8日 新年子どもまつり

副長 畑崎祐子

ここ数年晴天に恵まれた「新年子どもまつり」ですが、今年は曇りのち雨。朝からさむい、一日でした。世田谷区役所での催しも、おおむね毎回同じ内容なので、ビーバーの頃から参加していたスカウトには、新鮮さはなかったかもしれませんが、それなりに組ごとにたのしみをみつけてすごしてくれていたようでした。ゲームやターザンロープなどは、並ぶ時間が長いので思うようにできなかった組もあったかとおもいます。ベゴマや羽子板に熱中する姿など、なんだかほほえましかったです。

後半の「街なか動物ハント」は、スタートの若林公園から等々力まで、制限時間内に歩く中で、できるだけたくさん「動物」のイラストを発見、捕獲（カメラで撮影するのですが）、報告してもらおうというシンプルなものでした。当初想定は、住宅街にはなかなかイラストはないだろうと思っていたのですが、まあでてるわでてるわ……。子どもたちの観察力と、ここにあるかもというカンと。なかなかのものでした。おかげで集計が時間内に終わらないという、担当者泣かせの終わり方で、申し訳なかったです。おまけに震え上がる寒さで、ちょっと過酷な一日でしたね。

反省点は多々ありますが、世田谷の町を改めて観察しながらのハイクには、地域愛がめばえますように、との願いもほんの少々込めております。未来の世田谷を担うひとに、育ててくださいね。



3組うさぎ

雨の中歩くのは大変だったけど、いろんなイラストの動物を見つけられてよかったです。同じことをまた来年もしてみたいです。

2組うさぎ

今日はみんな寒い中、一生懸命サファリラリーをして動物の看板を見つけました。町の中には、いろんな種類があるのだなと思いました。



1月22日 凧作り、凧揚げ

副長 太田雄介

新年恒例のたこ作り&たこ揚げ大会。

例年、とても寒かったり、ときには大雪に見舞われたりと、大変な天候の場合が多いプログラムですが、今日は曇ひとつない晴天のポカポカ陽気のなか、穏やかにたこ揚げができてよかったです。

午前中は尾山台小でたこ作り。5団カブ隊で受け継がれてきたレジ袋製のたこです。今年のデザインテーマは、「自分の名前の文字をデザインしよう!」ということで、それぞれの名前の一部の文字を使って、新年らしさを加えた絵を書きました。製作中はサクサク進められる子、ハサミ使いに苦労する子など様々でしたが、仕上がりは個性豊かなたこが揃いました。

デザイン審査後に、多摩川土手まで移動。昼食時間はほどほどに済ませ、さっそくたこ揚げの練習です。今日はうららかな天候のぶん、風はあまり強く吹いていなかったのですが、ときおり来る風を捕まえて、高く揚げられるスカウトもいました。

ここ数年はたこ揚げのコンテストはやっていなかったのですが、今年は組内で予選をしたのち、代表者が競うという形で組対抗戦をやりました。結果、途中で飽きてしまうスカウトの数も例年よりも少なくなっていたし、ただ作って揚げて、よりも、キチンと評価されるほうが子どもたちもやり甲斐を感じられてよかったのではないのでしょうか。

大会の段取りや時間配分などがうまく行かなかったので、来年以降に生かして、よりプログラムの完成度を上げたいな、と思いました。

2組DL 長井彰子

いかだ作り&大会に続くカブスカウトの伝統行事”凧(たこ)作りと凧揚げ大会”。

午前中に凧を作り、午後に自分で手づくりした凧を多摩川の河川敷で揚げて遊ぶ。。。なんて男子にはたまらないこの企画。笑

今年は更に大会色が強くなり、凧のデザイン審査や組毎の凧揚げ予選会、組の1位スカウトの対決など競争心に火をつけられたスカウト達が大興奮。

最後は、変なあだ名で叫び合ったり、変な動きで騒ぎ合ったり、河川敷では自然児になるのかしら。と観察を楽しめた一日でした。

因みに私は昨年につき2回目の活動でしたが、今年はDLデザイン賞をゲット。あっ、DL3人中の1位です。すので全然すごくはございません。笑。



2組うさぎ

『ぼくはたこあげ大会で、2組で2位になれた事がとても嬉しかったです。

たこも自分ではとてもうまく作れたと思うので良かったです。

また、カプスカウトのみんなと集まったたこあげ大会をしたいです。

1組しか

ぼくのタコは【イカしたダニエル】という名前です。1組のなかでもすごく高く飛んで、とってもすがすがしかったです。

でも団のなかのたたかいは負けたのでくやしかったです。



ボーイ隊

1月7～9日 スキー訓練

BS隊 オットセイ

ボーイスカウトでの初めてのスキー訓練はとても楽しかったです。畑崎くんは初めてだったけど2日目になるととても上手になっていました。僕もすごく上達しました。石崎隊長がすごくわかりやすく教えてくれたからだと思います。すごく感謝します。ありがとうございました。

また、来年も楽しみです。

BS隊 オットセイ班

中学校で、スキーをした直後に迎えた今回のスキー訓練は初日から慣れた動作で滑ることができたのではないかと思います。学校の方ではパラレルターンができるようにまで成長することができたので、今回のスキー訓練では、中級者コースでも難なくパラレルターンを滑れるようになることを目標にしました。二日目からはCSの三園副長を招き小針君と三人でパラレル



ターンに磨きをかけました。三園副長の教えはとて
わかりやすく、急斜面にも怯えることなくパラレルタ
ーンができるようになりました。

二日間の練習の成果を発揮した三日目の検定では、見
事3.3級になり去年より約1級上げることが成功しま
した。また来年も頑張りたいです。

BS隊 カモメ班

今回僕は班長としての初めてのスキー合宿に参加し
ました。今までは先輩達に頼ってばかりだったのです
が、今年は班長としてまとめる側になったのでうまく
まとめられるか不安でした。訓練初日は自分自身がす
べるのになれるまで大変でしたが、慣れてくると楽し
くなりました。反省点は班員に時間を伝え忘れてしま
い、班が集合時間に間に合わないことでした。しかし、
2日目3日目になって班員に集合の五分前の時間を伝え
ると、初日よりも素早く準備をしてくれて、時間に間
に合うようになりました。そのおかげで、班員を心配
せず思いっきり滑ることが出来ました。なので班員に
はとても感謝しています。そして来年のスキーでは今
よりもっと班員をまとめられるようにしたいです。

BS隊 オットセイ班

僕は今回、ボーイスカウトの活動で2回目のスキー
訓練キャンプに参加しました。大自然の中で行うスキ
ーは、日常では味わえない貴重な体験で、とても気持
ちが良かったです。リーダーによく教えていただいた事
と、年末、父に人工スキー場に練習に連れて行って
もらった事もあって、検定では、昨年よりも級を上
げる事ができて嬉しかったです。ただ、忘れ物をして
しまった事が大きな反省点です。石崎隊長、どうも有
り難うございました。

VS

今回のスキー訓練はそもそもBSの活動だった為、
VSである自分はある程度自由に滑ることができた。だ
からいろんなことを試してみたが、それゆえか初日に
軽度の捻挫(?)をしてしまった。そして案の定、2日目
の滑走をみすみす逃してしまった。けれども三園リー
ダーの治療指導のおかげで3日目には復帰できた。と
てつもない回復速度で驚いた。三園リーダーには感謝
しきれない。三園リーダー、お世話になりました。あ
りがとうございました。スキーが上手くなったがどう
かとはもなく、指導や、計画、また治療においても
たくさんのお世話になった会となった。申し訳ない
こともあったが、自分としてはとても楽しいもの
となった。

RS隊

吾輩は二十歳である。しかし、先日行われた成人式
には参加していない。なぜか？ それはその日、BSの
スキー訓練奉仕があったからだ。 成人式前に友人が



ら一緒に行こうと誘われたけども、上記の理由で断わった。もちろん、友人は驚いた。友人が驚いた理由もよくわかる。成人式は重要なイベントであって、一生に一度の晴れ舞台であるから、行かないなんてありえない。そう思う人は多いはずだ。しかし私は違った。

カブスカウトのシカから始めて12年、今まで習い事はいくつかやってきたが、3年以上続かなかった。それにも関わらず、なぜボーイスカウトだけは続けられたのか？ その理由は、ボーイスカウトで学べること、そしてボーイスカウトでしか学べないことに関係している。私は一人っ子で、兄弟はいない。そのせいか消極的な性格に育った私は、集団行動が苦手だった。しかし、ボーイスカウトを始めたことで、学校とはまた違った意味での集団行動を経験することとなった。その中で学んだ仲間の大切さは、ボーイスカウト以外の活動ではなかなか得られない、特別な感覚だと思っている。もちろん、経験したのは集団行動だけではない。様々な自然に触れ、世界のスカウトと交流した。普段学ぶことの出来ないことをたくさん学んだ。私の人生はボーイスカウト抜きには語れない。ボーイスカウトは私にとって、それくらい大切なものなのである。だから、成人式よりボーイスカウトを優先した。

後輩達に伝えたいのは、ボーイスカウト活動一つ一つの大切さである。私のように、成人式より優先することまではしなくて良いけども、「隊集会のような小さな活動でも、何かしら自分自身を成長させるチャンスである」と、そう思って参加してもらいたい。そして、自分にとってのボーイスカウトはどのような存在であって、どのように自分を成長させてくれたのかを、いつか振り返ってほしい。

RS隊隊長 渡口要

スキーと勉強 —理論と実践—

1. BSスキー訓練

2017年もBSのスキー訓練に参加しました。そこでスカウトの皆にスキーを教えた際、あることを強調しました。それは、理論と実践の違いです。

スキーを学ぶ際、外足荷重や前傾姿勢などのコツを、理論(≒理由、理屈)と一緒に教わると思います。私も理論を大事に教えます。と同時に、理論だけではダメで、実践が必要であることも強調します。理論と実践の関係がどうなっているか、明確に理解し意識している人は案外少ないからです。

どういふことでしょうか？

スポーツにおいて実践が大事なことは当然です。どんなにスキーの理論に詳しくても、実践、すなわちトレーニングをしなければ上手くなるわけがありません。では、スポーツにおいて理論は何の役に立つのでしょうか？ それは、トレーニングの効率に関係します。スキー理論を知らなくとも、何千本、何万本と滑れば、スキーは上達するでしょう。それに対し、理論を知り自覚的にトレーニングした場合は、上達に必要な時間(滑走本数)が短縮されるのです。

理論と実践を別々の人間が受け持つ場合もあります。スポーツ科学や栄養学などをスポーツトレーナーが引

き受け、トレーナーの指示に従ってアスリートがトレーニングするような場合です。しかし、真に一流のアスリートになるためには、程度の差はあれ、やはりアスリート自身が理論を身につけていないといけなように思われます。例えば、イチローがバッティング理論に関して全く無自覚だった場合、才能とトレーニングと優秀なトレーナーだけであそこまでのスーパースターになれたのでしょうか？

このようなわけで、BSスキー訓練では、「今から教える理屈だけで滑れるようにはならない。でも、これらの理屈を知って自覚的に練習すると、上達が早くなるよ」と、そういう風に言ったわけです。

2. 勉強会

私は毎月、BS隊・VS隊・RS隊を対象として勉強会を開催しています。基本的に何を勉強しても良い場ですが、私への質問は、圧倒的に算数・数学が多いです。それら質問に答えるときに強調するのが、やはり理論と実践の違いについてです。

質問に対し、解答・問題のポイント・公式の意義や導出・出題者の意図などを私は解説します。それで皆はすっきり納得するかもしれませんが、しかしそれは、理論が分かりやすく解説されたことによって、少し見通しがよくなったに過ぎません。それだけでは、問題を解く力は身につかないのです。

算数・数学に限らず、勉強一般において、「理解」の先には「体得」という段階があるのです。算数・数学で言えば、「とりあえず理屈は分かった」ということの先に「どんな問題でも解ける」という段階があるわけです。そしてスポーツと同じく、「体得」はトレーニングによって達成されます。すなわち、問題をたくさん解くという実践が必要なのです。

理論と実践の関係は、スポーツも勉強も基本的に同じです。少し違うのは、理論と実践の重要性のバランスが、スポーツでは実践寄り、勉強では理論寄りだということです。だから、スポーツでは理論が、勉強では実践が、おろそかになりがちなのです。実際、学校や塾で授業を受け、たくさんの理論を解説されてすっきりしたことを「体得」と勘違いする生徒はとても多いです。とんでもないことです！ 上手い授業を受けて「理解」した状態は、計算ドリルによる「体得」の効率を上げるという点で確かに有効です。しかし、トレーニング自体をおろそかにしては何の意味もありません。家で問題集を解く時間を大きく削ってまでして、学校と塾で1日中理論だけを「聴く」のは本末転倒です。このことは、とにかく強調したいと思います。

3. 大人になっても、ボーイスカウト活動でも

理論と実践の関係は、スポーツや勉強以外でも様々な形で問題となります。例えば会社では、開発で働く人と現場で働く人が対立する、なんてことがあります。開発が理論で、現場が実践だとすれば、理論と実践の関係、つまり開発と現場の関係を良くすることが会社にとって大事だ、ということになります。あるいは哲学では、形式知と暗黙知という呼び方でこの問題が研究されていて、最近では人工知能(AI)との関連で話題になっています。ここではこれらについて詳しくは説明しませんが、理論と実践の関係は一生ついてまわる問題なのだという事は言うておきたい。ですから、スカウトの皆はスポーツや勉強をする上で、この関係

についてなるだけ自覚的であって欲しいと思います。それは、きっと、役に立ちます。

念を押します。やみくもに身体を動かすばかりで、頭を使わないアスリート。ひたすら授業を聴くばかりで、手を動かさない生徒。それではダメなのです。

最後に、このような観点で見たとき、ボーイスカウト活動にも理論と実践のバランス感覚を養うチャンスがたくさんあることも知って欲しいと思います。もうすぐB-P祭ですが、B-Pは理論と実践の関係をどう考えていたのか、『Scouting for Boys』を読んで探ってみてもいいかもしれません。



会議報告

- 育成会役員会 1月13日(金) 9:30~12:00 等々力出張所まちづくりセンター 活動フロア
 - ★ バザーの最終打ち合わせ
 - ★ 入団説明会の準備
 - 入団説明会案内のチラシ印刷・配布について
- 団会議・団委員会 1月28日(土) 19:00~ 尾山台地区会館第1会議室
 - ★ 団行事の「もちつき」は適当な場所が確保できないため中止
 - ★ 入団説明会 3/12 13:30~ 玉堤地区会館第2会議室
 - 説明会后、河川敷でスカウト活動を見学してもらう
 - BS隊: テント張り
 - VS隊、RS隊: 火を使った料理
 - BVS隊、CS隊: ゲーム等
 - ★ 東京マラソン奉仕(2/26) 5団はゴール担当
 - ★ スカウトキャンプ研修会 3/4, 5 (説明会 2/24)
 - ★ 団面談 2月11日
 - ★ 来年度の団行事日程調整



会議予定

- 2月17日(金) 育成会役員会 10:00~12:00
等々力出張所まちづくりセンター 活動フロア
(入団説明会チラシ印刷も兼ねて行う予定)
- 2月25日(土) 団会議・団委員会 19:00~ 奥沢地区会館第2会議室

★育成会よりバザー報告★

● 21日(土)九品仏参道で開催された餅つき大会に『ボーイスカウト世田谷5団育成会』として参加しました。バザーは大盛況で、50,305円の売り上げとなりました。この売り上げは団の資金となり、スカウト達のために使われます。皆様がお持ちくださった献品のおかげです。また販売のお手伝いをして下さった保護者の方、寒い中本当にご協力ありがとうございました。

